

令和6年9月号

鹿浜こども園だより



足立区立鹿浜こども園

第一園舎 Tel.3855-4447

足立区鹿浜 5-25-11

第二園舎 Tel.3897-8515

足立区鹿浜 5-24-4-101

園長 守屋 久美子

今日から第一園舎では2学期が始まりました。久しぶりに顔を合わせる友達もいて、みんなとても嬉しそうにしています。「プールにいったよ」「お山に行ったの」と目を輝かせて報告してくる日焼けした子どもたちの姿に、心身ともに一回り大きくなったように感じました。

今年の夏は、家でオリンピックをご覧になったという方も多いのではないのでしょうか。子どもたちの遊びの中にも金メダルを自分で作り、友達と考えて作った競技でオリンピックごっこをする姿がありました。今回のオリンピックも若い選手の活躍が光っていました。特にスケートボードでは中学生の活躍に驚きました。幼い時から誰よりも努力するお子さんだったといえます。また、この競技はコツコツと努力を惜しまない日本の国民性に合うというコメントもありました。スケートボードのイメージとは違う地道な「目標に向かってあきらめない努力」があったからこそその結果であると考えさせられました。

この「あきらめずに最後まで挑戦する力」や「失敗しても前向きに気持ちを切り替える力」など、数値では表わせない力は『非認知的能力』と呼ばれています。この力は日々の遊びの中で興味関心をもったり試行錯誤を繰り返したりしながら、小さな成功体験を積み重ねることによって培われていきます。これからも全職員で「自分はやればできるんだ！」うまくできなくても、「大丈夫だよ」「見守っているよ」と子どもたちの気持ちに寄り添いながら、自己肯定感を育む教育・保育を進めて参ります。

園長 守屋 久美子

***** お知らせ *****

教材費（4・5歳児）納入について

- ・ 9月分： 9月3日（火） 1000円
- ・ 10月分： 10月1日（火） 1000円

集金に際しましては集金日より前に集金袋をお渡しします。集金日には袋に記載されている金額を封入の上、園にお持ちください。

鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ
やさしいところ
かんがえるちから

心豊かに たくましい

「遊ぶの大好き・笑顔いっぱい子ども」
を育てる

【行事予定】

9 月	
2日（月）	始業式④⑤（短）11:45降園 安全指導
3日（火）	プール終④⑤
5日（木）	避難訓練（引き取り訓練）
12日（木）	避難訓練（水害）
17日（火）	お月見
18日（水）	身体測定

10 月	
3日（木）	安全指導 内科検診（第二）13:00
5日（土）	運動会③④⑤
8日（火）	運動会雨天時予備日
10日（木）	避難訓練
16日（水）	身体測定
17日（木）	内科検診（第一）13:00
22日（火）	開園記念日
24日（木）	バス遠足④
28日（月）	保育参観・参加①②～11/8

《二学期始業式 4・5歳児》2日（月） 服装 標準服

夏季休業が終わり、二学期始めの式を行います。

降園時間 短時間保育児・・・11:45

長時間保育児・・・保護者の就労に応じて降園

《引き取り訓練》5日（木） 持ち物：引き取り確認書

災害に備えて、非常時の引き取り訓練を行います。コドモンで配信したお知らせの内容をご確認の上、訓練に参加してください。

《水害訓練 1～5歳児》12日（木）

台風などによる洪水を想定した訓練を行います。

《お月見》17日（火）

十五夜の伝統行事にちなんで、月にまつわるお話を聞いたり、月に興味をもったりしながら、年齢ごとにお月見の雰囲気を楽しみます。

《実習生》2日（月）～14日（土）

淑徳大学の実習生を受け入れます。子どもたちと直接関わる中で、子どもの発達や教育・保育について学びます。

〈ひよこ組〉

水遊びだいすき！たらいに入っている水を叩いて水しぶきをあげ、全身で水の気持ち良さや楽しさを感じていました。歩行が安定してきたことで目線が変わり、探検することが面白くなってきました。興味のある部屋に遊びに行ったり、廊下にいる魚を見に行ったりして楽しんでいます。



ねらい

- 自分の思いを身振りや手振り、単語を使って表現し、思いが伝わる喜びを感じられるようにしていきます。

〈りす組〉

ピタゴラスや積み木では、高く積むことが楽しいようです。どんどん高く積んでいく中で、崩れてしまうこともあります。「壊れちゃった…」と呟くも、友達と一緒に「もう一回！」と言って、さらに高くなるようにチャレンジしています。「そーっとね」と崩れないよう丁寧に置き、大きなタワーが完成するまで、繰り返し遊びを楽しんでいます。



ねらい

- 保育者や友達と一緒に走ったり、体を動かしたりしていきます。
- 自分の思いを簡単な言葉や身振りなどで伝えようとしていることを受けとめ、伝わる喜びが感じられるようにしていきます。

〈うさぎ組〉

容器から容器に水を移し替えたり、ペットボトルシャワーで頭から水をかぶったり、全身を使って水遊びを楽しんでいました。恐竜や乗り物など、イメージしたことを表現して遊ぶことも増えてきました。友達に「こうしたい」と伝えながら一緒に遊ぶことを楽しんでいます。



ねらい

- のびのびと体を動かす楽しさを味わえるようにしていきます。
- 身の回りのことをやってみようとする気持ちを大切に見守っていきます。

〈ぱんだ・こあら組〉

中型積み木を使って、同じイメージをもってお店屋さんごっこを楽しんでいます。時には、イメージの違いから、思いが衝突することもあります。その都度、保育者が仲立ちをしながら、自分の思いを安心して相手に伝えたり、相手の思いに気づけたりできるようにしています。

今月も、友達や保育者とイメージを広げて、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

最初はイメージが違っていたが、相手の気持ちに気づくことができ、楽しく遊んでいます。



イメージが合い、ごっこ遊びの世界に夢中になっています。

ねらい

- 体を動かしたり、友達と同じ空間で一緒に遊んだりする楽しさを感じられるようにしていきます。
- 様々な運動遊びに挑戦して、体を動かす心地良さを感じられるようにしていきます。

〈ぞう・きりん組〉

プール遊びをする中で子どもたちは水の流れや水に浮く感覚を楽しんでいました。顔を水につけたり、ビート板を使って泳いだりすることにも挑戦しました。

そしてこの夏、子どもたちが最も熱中した遊びは、ドッジボールです。皆で遊ぶ楽しさを存分に味わっています。ルールを守る大切さに気づき、チーム内で話し合うなど子ども主体が進められるようになってきています。

体が浮いている！



チームで力を合わせよう！

ねらい

- 様々な運動遊びに挑戦し、繰り返し取り組みの中で体を動かす楽しさを味わえるようにしていきます。
- 自分なりにめあてをもって取り組み、達成する楽しさや喜びを味わえるようにしていきます。